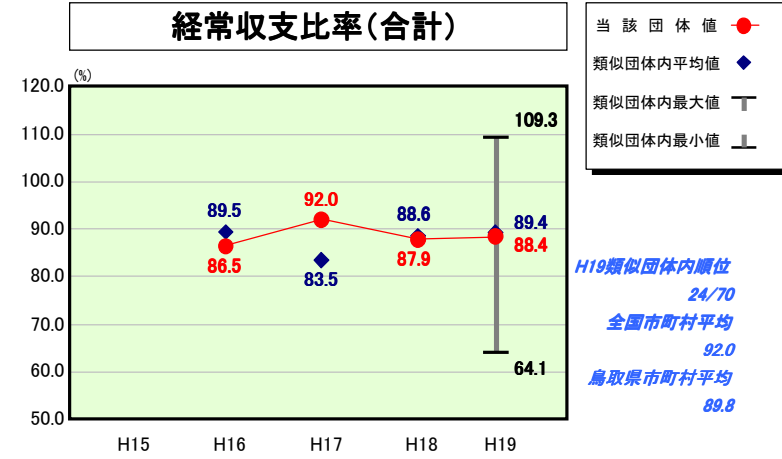


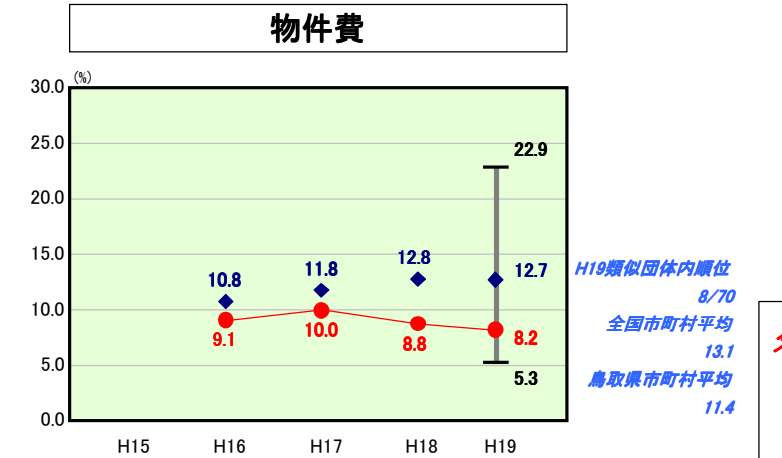
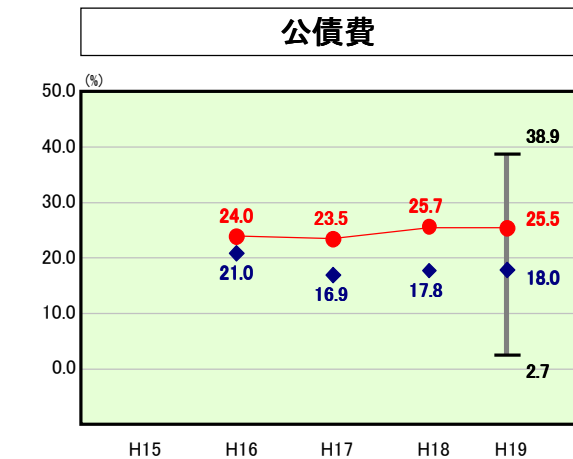
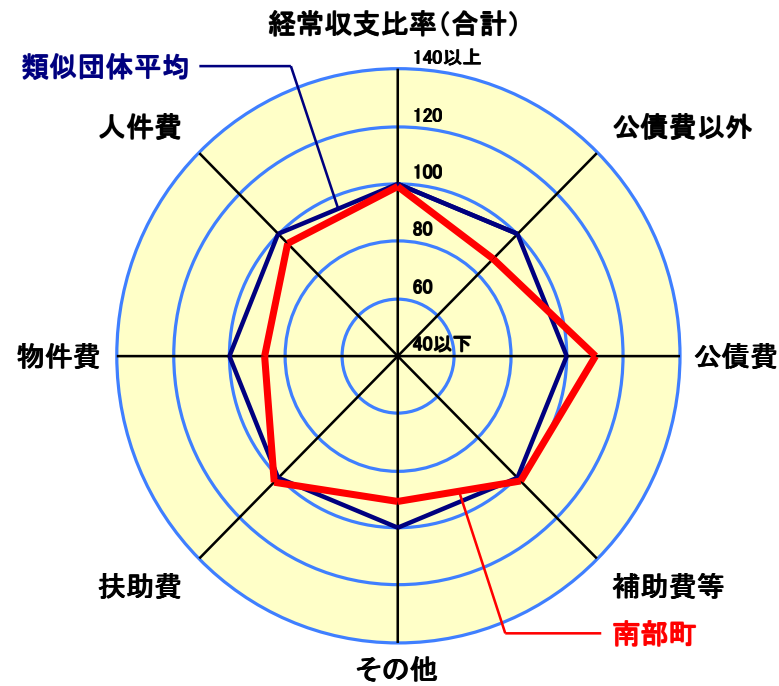
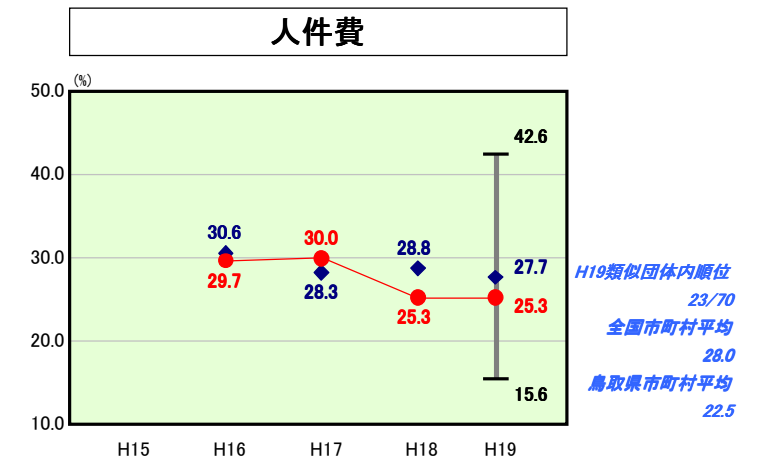
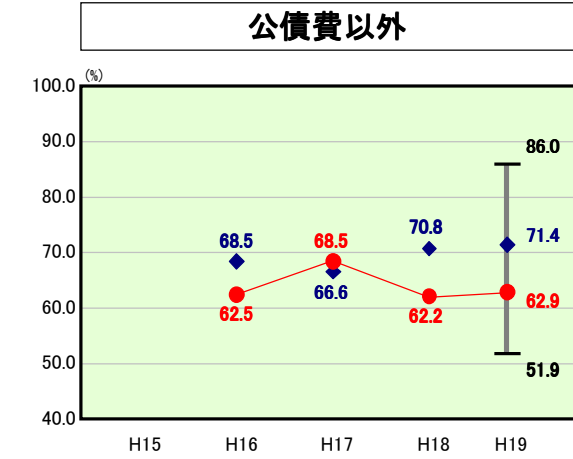
歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

鳥取県 南部町

経常収支比率の分析



人口	12,112人(H20.3.31現在)
面積	114.03 km ²
歳入総額	6,175,930千円
歳出総額	6,007,061千円
実質収支	168,332千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【経常収支比率】
 経常経費は、合併特例債(CATV施設整備)、平成15年度の臨時財政対策債の償還が始まったことにより、前年より増加している。

【人件費】
 退職勧奨により職員数の削減を図り、さらに給与カットにより人件費の削減に努めているが、退職手当負担金の増加で人件費は前年と同じ25.3%となっている。

【物件費】
 旅費日当の廃止をはじめ、土日の日直業務委託を職員による業務に変更などで前年より減少した。今後も事務経費の見直しを行い物件費の削減に努める。

【扶助費】
 障害者施策、児童手当制度の拡充などにより扶助費が増額となっている。

【公債費】
 合併特例債(CATV施設整備)、平成15年度の臨時財政対策債の元金償還開始により増加している。このため鳥取西部地震の県貸付金の償還繰延などにより公債費の削減を実施する予定である。

【補助費】
 補助費は、病院建設の起債償還の増加に伴い、交付税措置分として支出する額が増加している。

